

文書				User	殿
大区分		小区分		Pages	1/3
整理番号 名称	取扱説明書 高電圧ユニット			Object equipment	_____

取 扱 説 明 書

装置名称 / 装置番号

コロナ放電実験システム ELCG-02ASP 型



エレメント株式会社

〒252-0331

神奈川県相模原市南区大野台5-13-3

TEL 042-786-5063

FAX 042-786-5065

<特色>

本製品はコントロールユニット、コロナ放電電極ワーク台ユニットが一体になった卓上式コロナ放電システムです。重量約23kg Y軸電動シリンダーにてY方向に200mm移動しコロナ帯電処理を行います。ワーク台サイズは180×180mmです。ワークΦ37mm t=1mm以下を16枚実装できます。二対の手動Z軸ステージにてコロナ放電電極、グリッド電極の高さを調節できます。

<仕様>

コントロールユニット

1、高圧電源部

- (1) コロナ放電用電源 0～+15.00kV 1.999mA
最大印加電圧 0～+9kV 1.999mA
出力電圧制御 CV1個
出力電圧、電流表示デジタルパネルメーター 1個切り替え式
- (2) グリッド電極用電源 0～+3kV 2mA
出力電圧制御 CV1個
出力電圧、電流表示デジタルパネルメーター 1個切り替え式
- (3) HV ONスイッチ ミニトグルスイッチ 1個
ON時高電圧ON
- (4) kV/mAスイッチ ミニトグルスイッチ 1個
デジタルパネルメーター表示 切り替え用
- (5) 高電圧出力部
 - 15kVコネクタ 1個
 - MHVコネクタ 1個

2、ワーク台制御スイッチ部

- (1) EMG 非常停止スイッチ
- (2) ブザーリセットスイッチ
- (3) AUTOスイッチ ON時AUTO OFF時マニュアル
- (4) 1、2、3スイッチ AUTO OFF時MANU
 - スイッチ1 放電処理工程26SEC 原点復帰6.5SEC
 - スイッチ2 放電処理工程13SEC 原点復帰6.5SEC
 - スイッチ3 放電処理工程6.5SEC 原点復帰6.5SEC
- (5) STANDBYスイッチ 原点復帰時使用
 - *POWER ON時は必ず各スイッチ操作前に1度押して下さい。
- (6) →、←スイッチ MANU時ワーク台ジョグ操作

<事前準備>

- 1、コントロールユニットのPOWERスイッチがOFFであることを確認願います。
EMGスイッチ、HVONスイッチもOFFであることを確認願います。
コントロールユニットリア部の端子台1P2Pをインターロック用に外部リミットスイッチ等へ接続願います。
*無電圧接点入力DC30V100mA以下
(出荷時はショートバーを実装しております。)
- 2、3PACケーブルをACコンセント(5A以上)に接続願います。
3種以上のアース線を高圧電源ユニットリアパネルのE端子に接続願います。

<操作手順>

自動操作

- 1、POWERスイッチをON願います。
- 2、AUTOスイッチをOFF願います。
- 3、STANDBYスイッチを瞬時ONしワーク台を原点復帰させてください。
- 4、HVONスイッチをONし各CVボリュームにて各出力電圧値を設定願います。
- 5、kV/mAスイッチにて出力電圧値、電流値をご確認下さい。
- 6、AUTOスイッチをONしスイッチ1、2、3、のスピードパターンから所望するスイッチを選択し瞬時ON願います。
- 7、ワーク台が1往復し原点へ戻り1工程終了です。
- 8、操作中に異常を感じましたら、EMGスイッチをON願います。
ワーク台は停止し各高圧電源の出力を遮断します。ブザーが鳴動しますのでブザーリセットスイッチにて消音願います。
- 9、全ての処理が終了しましたら、HVONスイッチをOFFしPOWERスイッチをOFF願います。

手動操作

- 10、MANU時はAUTOスイッチをOFFします。
POWERスイッチをONし、HVONスイッチをONします。
→ ←ジョグスイッチにてワーク台を所望の位置まで移動し、
コロナ電圧、グリッド電圧を任意の電圧値を任意の時間印可し
コロナ帯電処理を行ってください。